

# ひとりひとりひかる

2005 11/26  
**増刊号**

# きぼう

発行:かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147:kasisato@f7.dion.ne.jp  
・榎の木園:kasien@k3.dion.ne.jp ・榎の木作業所:kasisyo@k2.dion.ne.jp  
かしの木 ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kst/>



▲ 子どもたちに大人気の仮面ライダー



▲ 笑顔をありがとう! 中学生ボランティアさん



▲ 冷たい雨の中、笑顔いっぱいの演技に拍手!!



▲ サービス精神旺盛なパンダレンジャー



**新市誕生記念事業 第6回かしの木フェスティバル**は、残念ながら肌寒い雨の一日となってしまいました。そんな中ご参加いただいた出演者、出展者、ボランティアの皆さん、そしてこの日を楽しみに足を運んでくださった来場者の皆さんに心より感謝。来年は青空の下、笑顔いっぱいふれあいいっぱいの一日にしたいですね。

### 【増刊号 きぼうの目次】

表紙 写真 目次	..... P. 1
かしの木フェスティバルを終えて	..... P. 2
尾西市民オーケストラ/Win Bell Majorette	..... P. 3
新市誕生記念事業かしの木フェスティバルの感想	..... P. 4
ボランティアさんに聞きました	..... P. 5
かしの木フェスティバル 収支報告	..... P. 6

やさしさ

地域に広がれ





## 新市誕生記念事業 かしの木フェスティバルを終えて

当日は雨の降る中、約1500名もの方々に足を運んでいただきまして、誠にありがとうございました。悪天候にも関わらず、あいにく一部出演できませんでしたが、尾西市民オーケストラさん、Win Bell Majorettes さん、劇団テイルス(パンダレンジャー)さんの出演者の皆様には素晴らしいステージをみせていただきました。フリーマーケットの出店者の皆様方には途中で帰っていただくこととなってしまいましたが、近隣社会福祉施設・団体等19店舗の皆様には最後まで出店していただきました。また、ステージ進行、模擬店運営、駐車整理、会場設営など会員さん及びボランティアさんのご協力により、スムーズに行なえましたが、深く感謝しております。

今回は、「ともに暮らす ともに歩む この街で」をテーマに、そして「新市誕生記念事業」として行なってきました。今回初めて関心を持っていただいた方や、今までよりも関心が膨らんだ方など様々だと思いますが、今回ご来場、ご協力していただき、どんな出逢いや交流があったのでしょうか。このフェスティバルを通して、障害や年齢などに関わらず地域の人たちが互いに積極的に交流し、一人でも多くの人たちとともに理解を深め、「障害者」も地域の中で安心していっしょに暮らしていけるよう支援者の輪が広がっていくことを願っています。

かしの木フェスティバルも第1回の開催から、地域の皆様を始め、多くの方々にご協力いただき、今回で6回目を数えることとなりました。多くの方々にご来場、ご協力していただき、これまでの出逢いも確実につながり、様々な形で支援して下さる方も増えてきました。地域の方々を含め、支援して下さる方々とのつながりも大切にし、もっと広げていくことができたらと思っています。

今回のフェスティバルの企画運営にあたって、不備等があったかと思いますが、様々な形で多くの方々を支えていただきましたことを深く感謝申し上げます。このフェスティバルでの楽しみや出逢いが、今後少しずつでも、この街に住むすべての人が安心してともに暮らし、ともに歩んでいけるような支えとなるよう、次につなげていきたいと考えております。

平成17年11月吉日  
新市誕生記念事業 かしの木フェスティバル

実行委員長 胡桃沢清佳



やきそばの模擬店風景



手作り製品の販売風景



## かしの木フェスティバルに参加して

私たち尾西市民オーケストラは一宮市尾西地方を拠点に活動している吹奏楽団です。

このたび、はじめて「かしの木フェスティバル」に参加させていただきました。

私たちの演奏する直前に、あいにくの雨。演奏中止かと心配していましたが、スタッフのみなさんのご協力で急遽テントを設置していただき、演奏することができました。また、雨にもかかわらず多数のお客さまに演奏を聞いていただき、本当に感謝しています。

私たちはこれからも自らが音楽を楽しむだけではなく、少しでも演奏を通じて地域文化の向上にお役に立てたらと思います。

最後になりましたが、来年5月28日(日)に一宮尾西市民会館で定期演奏会を開催します。みなさんに楽しんでいただける演奏会を企画していますので、ぜひご来場ください。



尾西市民オーケストラ  
井本 和伸

## 今年もかしの木フェスティバルに参加して

今年もかしの木フェスティバルに参加させていただきました。ありがとうございます。

あいにく、開会時より雨が降り出し、私達も心配していましたが、スタッフ、ボランティアの方々のご協力を得て、お見苦しい点はあったかと思いますが、何とか無事演技をすることができ、ほんとに小さな事ですが、車椅子の方が近くに見えたら通路を開けるなど、今まで気にもしていなかった子ども達が少し勉強できた様な気がします。

ほんの小さな事でも子ども達が、周りを見て自分が今できることは何かを考え、自分の意志で手助けや協力ができる様になればと願っております。

そして来年にはメンバーの中にも福祉関係の学校へ進む子も出てきました。

このフェスティバルを通し、小さい子どもから大人まで色々と体験し、ふれあい、交流する事で人への思いやり、やさしさ、そしてみんなで協力し合う事を学び、昨年に引き続き今年もいろんな発見があり、また得るものが多かったと思います。

とにかく、私達はほんとに小さな事からしか始められませんが、今、自分達に何ができるかを考え、行動また活動していきたいと思っています。

今年のフェスティバルへの参加も、私達のチームにとって宝物になり、スタッフ、ボランティアの方々に感謝申し上げます。

ありがとうございました。



Win·Bell·Majorettes  
勝野 理恵



## 初めてかしの木フェスティバルに参加して

去る11月6日、かしの木フェスティバルが行われました。フェスティバルの前から、何を食べられるのか、そしてどんな発表が見られるのか、皆さんのそんな発言がたくさん聞かれました。その節々にワクワク楽しみな気持ち、それと「何が起こるのだろうか?」といったドキドキちよっぴり不安な気持ちが伝わってくるような数日間でした。

フェスティバル当日は、生憎の空模様。それでも雨の中嬉しそうに出かけていき、買い物をしたり、食べ物を食べたり、販売している方たちと話をしたりと、皆さんの様々な姿を見ることができました。いつもとは違った雰囲気、いつもとは違ったたくさんの人たち、すこし羽目を外してみたくなるようなそんな高揚感。フェスティバルに参加している皆の盛り上がりで、雨の冷たさを忘れてしまいそうになるような空間が出来上がっていたように思います。利用者の方のなかには、持っているお金の中でできる限り「愉しみ」を手に入れたいと一生懸命考えながら歩いている人もいました。

そしてフェスティバルも終わり、それからまた日常には戻るものの、手に入れたものを皆に見せ、何をした、何を食べたとお話をし…と、フェスティバルの余韻はしばらく続きました。同じように繰り返される日常の中に、ぼっと現れる非日常。それはその日だけではなく、日常そのものにもスパイスを与えてくれるものなのでしょう。フェスティバルのように、そんな「非日常」なイベントを、「いつも」の地域のなかで行っていくことの大切さを、そこに感じました。たくさんのご協力、ありがとうございました。

かしの木の里職員 高津 梓

## 保護者からのコメント

かしの木フェスティバル実行委員である私の日課は、とにかく週間天気予報を毎日欠かさず見て、当日の天気が晴れますようにと祈ることでした。ところが、当日は曇りのち雨という予報。「お願いだから、降るなら夕方からにして…」しかし、無情にも祈りは届きませんでした。

オープニングの式典から雨が降り出しました。このまま雨が続くと、今まで準備してきたことが全部水の泡になってしまいます。でも、何とかテントを2列隣り合わせにして「尾西市民オーケストラ」の皆さんの演奏が始まりました。背中がずぶ濡れになりながらも指揮者の方は、オーケストラを指揮されました。「Win Bell Majorette」の皆さんは、雨の中(特に小学校低学年の子供たちは「さむい、さむい…」と声を漏らしながら出番を待っていましたが)本番では寒さを吹き飛ばすような演技を披露して下さいました。

残念ながら、「尾西第一中学校ブラスバンド部」と「よさこい鳴子踊りの華いちもんめ」の皆さんの出番はありませんでした。けれども、来年もぜひここにお招きし、ステージに立っていただきたいと念じています。

一方、はるばる大阪からお越しいただいた「パンダ戦隊パンダレンジャー」の登場は来場者の皆さんに大うけでした。2列並べたテントの下でたち回りや踊り、歌等を披露して下さいました。数日後、インターネットのホームページをのぞくと次のように書かれてありました。「手作りのあったかいお祭りに呼んでいただいたが、残念なことに雨がひどくなりショーは簡単なアクションとダンスだけになってしまった。しかし、お客様はとても喜んでくれたので、尚更ショーをやりたい。無念が残ります。今後もまた、機会があれば是非出演したいお祭りでした。」そして、中学生の女の子たちとパンダレンジャーが握手をしている写真が掲載されていました。

私は、かしの木フェスティバルが本当に多くの人たちに支えられているということを改めて実感し、心から皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、「～ともに暮らす ともに歩む この街で～」のスローガンを大切にしながら頑張っていきたいと思えます。

フェスティバル実行委員 川島恵子



## 子どもと初めて参加しました

「うわっすごく広〜い！」それが会場に着いたときに初めて口から出た言葉でした。もう少し規模が小さいと思っていたので、大人一人と子ども二人、ワクワクしていました。開会式があったり来賓の方のあいさつがあったりして、かなり本格的な催しに驚き続きでした。でも、始まってすぐに雨が降ってきて残念。ボールプールで遊びたい子どもは始まってすぐに遊んだのですが30分もしないうちに雨でベッタベタになって、他の子は遊べなくなってしまいました。ぎりぎりセーフ！それからたくさんの人に混じって私達親子も歩きましたが、かなり雨が降っていたので二人の子どもを連れて歩くのは本当に大変でした。でも、焼きそば、焼き鳥、わた飴や手作り作品を買ったりして、模擬店を大満喫しました。この日は旦那もスタッフとして参加しており雨の中、駐車場で車を誘導していました。抽選会の景品もかなり高価なものが多くて、午前の部は参加しなかったくせに午後の部はちゃっかり参加し、当たりを狙いましたが駄目でした。パンダレンジャーも最高！HPで検索するとローカルヒーローとしてテレビ、ラジオとかなり出演しておりなかなか有名なパンダさん達でした。悪役のオオカミも傘をさして登場。パンダ戦隊が出てきてやっつけてくれたのですが、かわいい容姿をしているくせに動きのキレがいいので子どもたちはかなり驚いていました。最後の握手、写真撮影会もかなり盛り上がり大人から子どもまで皆が参加。子ども達も「パンダちゃ〜ん」と、ものすごく気に入っていました。いやあ、本当に可愛くて心が癒されました。雨のために中止になった催しやまともに見られなかったバトン演技は本当に本当に残念。下の子はまだ1歳なので無理ですが、5歳の上の子はこの日体験した中学生のボランティアさんの優しさや、障害を持っている人も頑張っているということが少し分かったようで、いろんな意味で本当に充実した一日でした。

購読会員 大野 多恵 (文、挿絵ともに)



## ボランティアさんに関きました

総勢 130 名のボランティアさんにご参加いただき、うち 60 名の方よりアンケートにご返答をいただきました。

①昼食、休憩はとれましたか？

はい(十分とれた)・・・58名

いいえ・・・2名

②今回ボランティアを体験して、障害者の方々のことについて、もっと知りたいと思いましたか？

はい(興味を持ちました)・・・55名

無回答・・・5名

③今回、ボランティアさんに対するスタッフの対応はいかがでしたか？気になったことはありましたか？

よかった(親切だった)・・・50名

無回答・・・9名

その他(スタッフの連携が悪い)・・・1名

④かしの木フェスティバルはいかがでしたか？

改善したほうがよいところは？

楽しかった(よかった)・・・30名

分からない、無回答・・・11名

その他・・・9名

※改良点

○雨対策の強化

・テントの増設

・ぬかるみ対策(滑りやすい)

・屋内施設利用の検討

・休憩場所の増設

○トイレの増設

○駐車場利用ルールを十分に

○昼食のおにぎりの具を子どもが好きなものに

貴重なご意見を生かし来年も充実した  
フェスティバルにしよう！！



# 新市誕生記念事業かしの木フェスティバルありがとう



## ☆第6回かしの木フェスティバルのご協力者数

- 協賛協力業者 80件
- ボランティア協力者 116名
- バザー等出店施設・団体 49件
- 当日来場者 約1,500名
- 当日参加者総勢 約1,600名

当日、パキスタン北部地震の義援金箱を設置しました。おかげさまで、10,962円が集まりました。集まった義援金は、(財)日本ユニセフ協会に振込みました。

## ☆第6回かしの木フェスティバル収支報告 (H17.11.22 現在)

支 出		収 入	
○ 事業費	1,071,660円	○ 協賛金収入	538,000円 (80件)
○ 模擬店材料費	60,566円	○ 新市記念補助	230,000円 (※見込み・1件)
○ バザー材料費等	754,009円	○ 協力金収入	250,000円 (5件)
○ 次期繰越金	153,547円	○ 模擬店収入	171,700円 (5店舗)
		○ バザー収入	754,009円 (他施設除く)
		○ その他の収入	88,023円 (来賓ご祝儀等)
		○ 寄付金	8,050円 (さくら組様他)

支出の合計 2,039,782円 収入の合計 2,039,782円

なお、次期繰越金は、かしの木の将来必要な事業資金として積み立てさせていただきます。

## ～新市誕生記念事業かしの木フェスティバルにご協賛していただきました方々～

青山歯科医院	小信金箴(資)	(有)三栄プレス	(有)イワコン	浅井商店
(株)浦野設計	大野設備工業(株)	建築工房(有)	(株)ジーケーエス	(有)カワサキ
タナカ商店	(株)壺番屋ボランティア	(有)橋本住設	(株)松元ゴム製作所	馬場 勝利
早善織物(株)	尾西信用金庫本店	菊屋米穀店	伊藤歯科	服部食品
よなかや	八百大商店/三条店	味よし販売	林 英子	マルエム商会
花のモウリ	ミートショップまつなが	(株)中伝毛織	国島豊店	(株)山田家具
美吉建設(株)	一宮電話興業(株)	(株)大東社	石川空調	ミクニヤ
栗田仏壇店	ミートブティック末広	渡辺石油	(株)大藤	白木屋米穀店
鈴木クリニック	(株)ベル フジヤ	カワシマ空調	大野屋	小田電機商会
浅野新聞店	ヘアサロン「オオイシ」	(有)本田ゴム	丸光商店	MONKEY BAR
新陽堂印舗	(株)クリーンにしわき	喫茶「倭」	博覧堂	松永商店
春日井豆腐店	(有)マツモト園芸	中島 道博	福寿亭	(株)コスモミート
中村理容店	星月保険センター	ミツザキ電機	内田屋	ツバメプロパン
池田 直美	(株)トーカイメディカル	(株)壺番屋	マルミツ製作所	若松園起店
金蝶堂	尾西商工会女性部	さくら組	尾西繊維	(順不同・敬称略)

上記のご協賛業者の皆様他、ご来賓の皆様、ボランティアの皆様、ステージ出演団体の皆様、バザー出店施設等の皆様、物品を提供して下さった皆様、テント等資材の無償貸与をして下さった団体の皆様、電気配線設備をして下さった皆様、会場付近の枯れた松の伐採などをして下さった皆様、フリーマーケット参加の皆様、広報活動にご協力を下さった皆様等、献身的なご支援とご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。本誌を借りまして厚く御礼を申し上げます。

## かしの木

## ～地域の人々に支えられ、地域の人々と共に～

かしの木の会 事務局	〒494-0018 愛知県一宮市富田字砂原 2147番地	Tel 0586-63-2111
	かしの木の里内	Fax 0586-61-1200
榎の木福祉会 ☆榎の木作業所	一宮市富田字漆畑 16番地	Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514
☆榎の木園	一宮市富田字若宮 17番地	Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253
☆かしの木の里	一宮市富田字砂原 2147番地	Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200